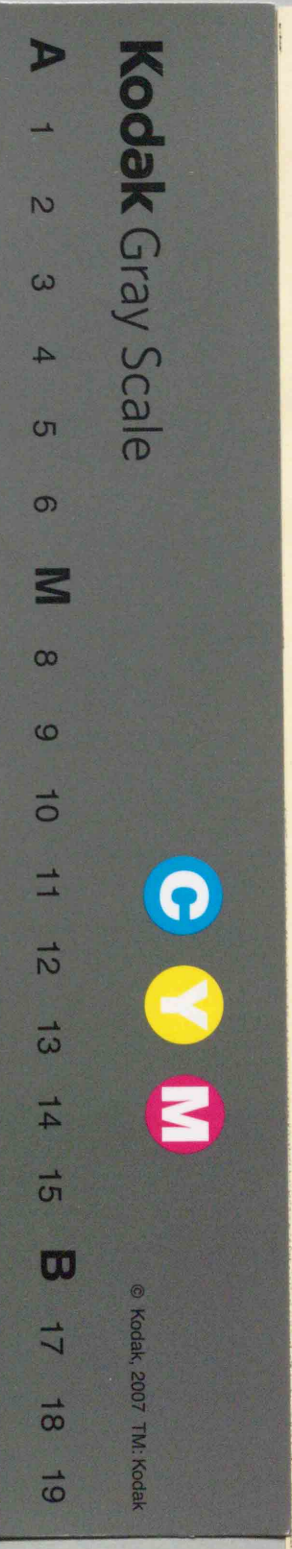
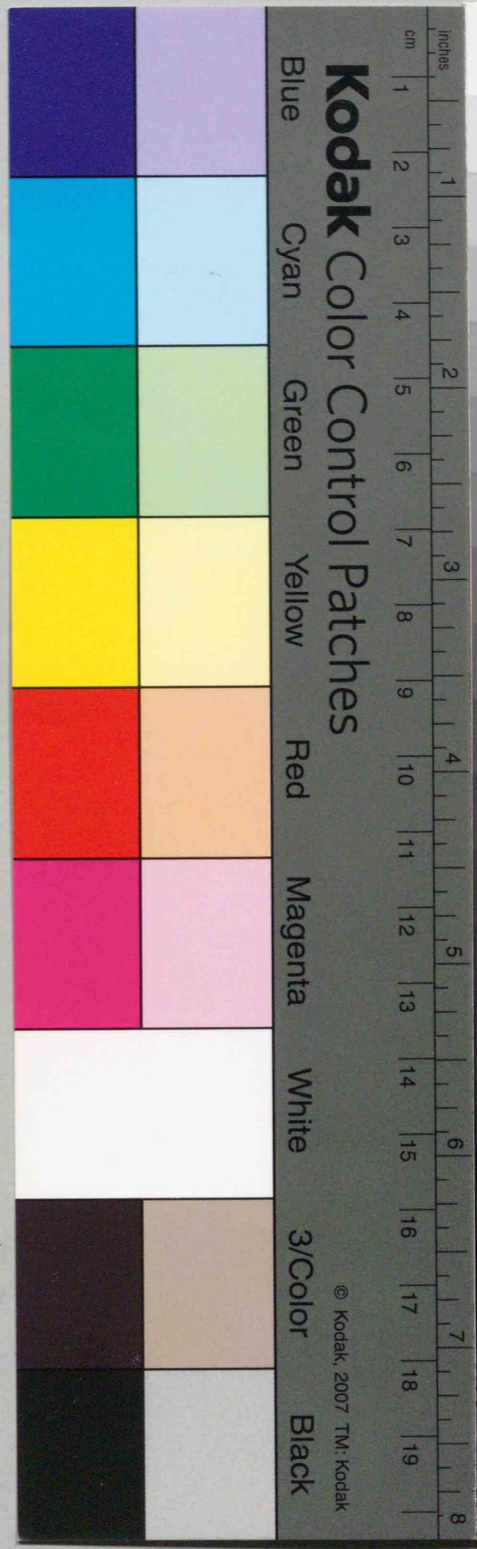
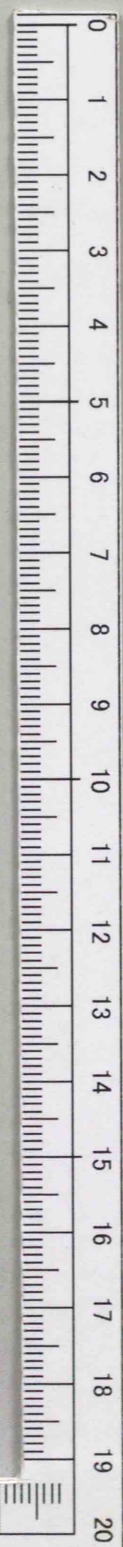


798
Ta14

798
Ta14
資料室

地 理 歷 史 教 育

東 京 名 所 唱 歌 雙 六



43238
教科書文庫

4

290

31-1907

20000
17023



资料室



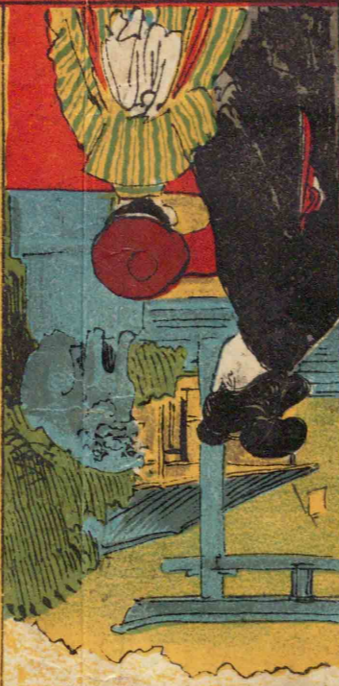
中 寺 鐘
鐘の音は
寺の鐘は
鐘の音は
寺の鐘は



水 上 舟
舟の上は
水の上は
舟の上は



白 川
川の白は
川の白は
川の白は



三 三
三三三三
三三三三
三三三三



三 三
三三三三
三三三三
三三三三



右 左
右左右左
右左右左
右左右左



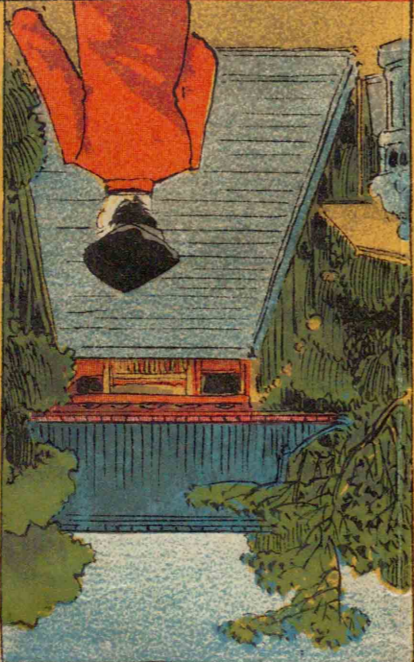
三 三
三三三三
三三三三
三三三三



水 上 舟
舟の上は
水の上は
舟の上は



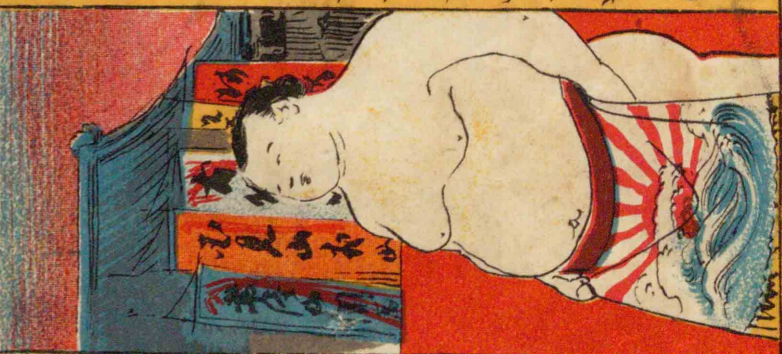
水 上 舟
舟の上は
水の上は
舟の上は



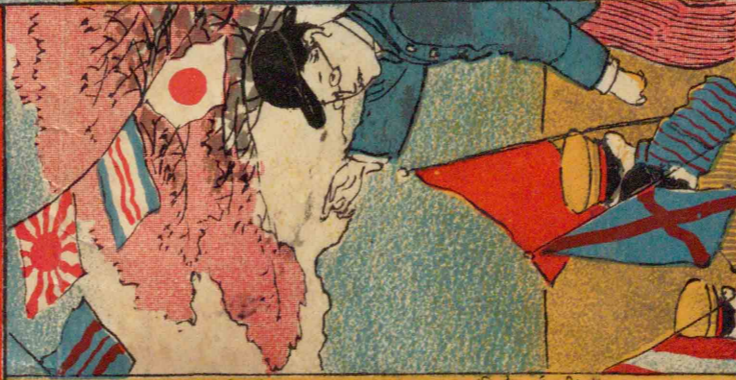
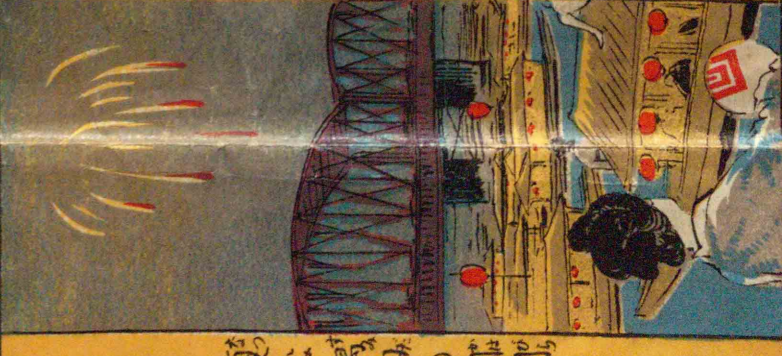
水 上 舟
舟の上は
水の上は
舟の上は



水 上 舟
舟の上は
水の上は
舟の上は



三 三
三三三三
三三三三
三三三三



三 三
三三三三
三三三三
三三三三

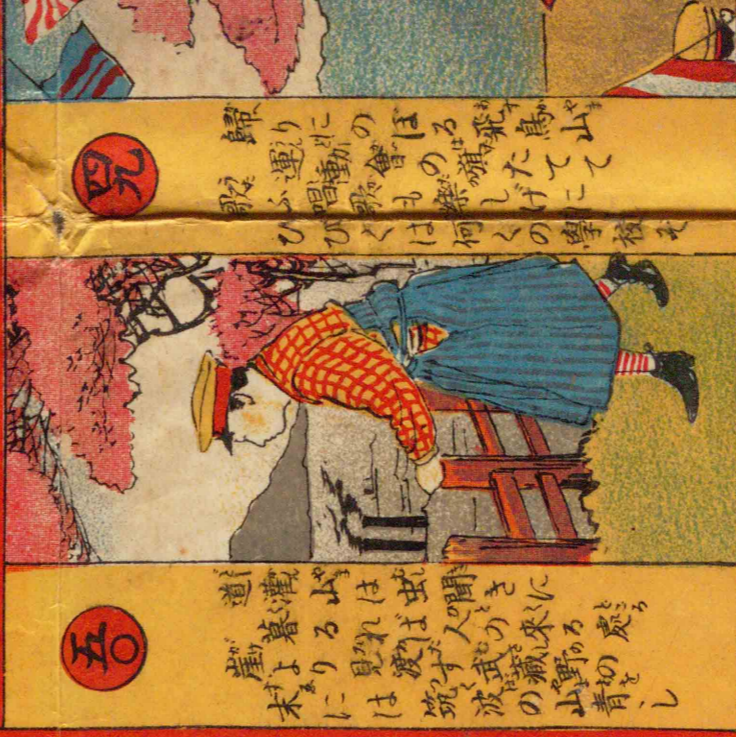


三 三
三三三三
三三三三
三三三三



五

先づ東京を二週し
聞きにまざる賞験の
利益をいさ歌はまし
喜んごや
歌はまし

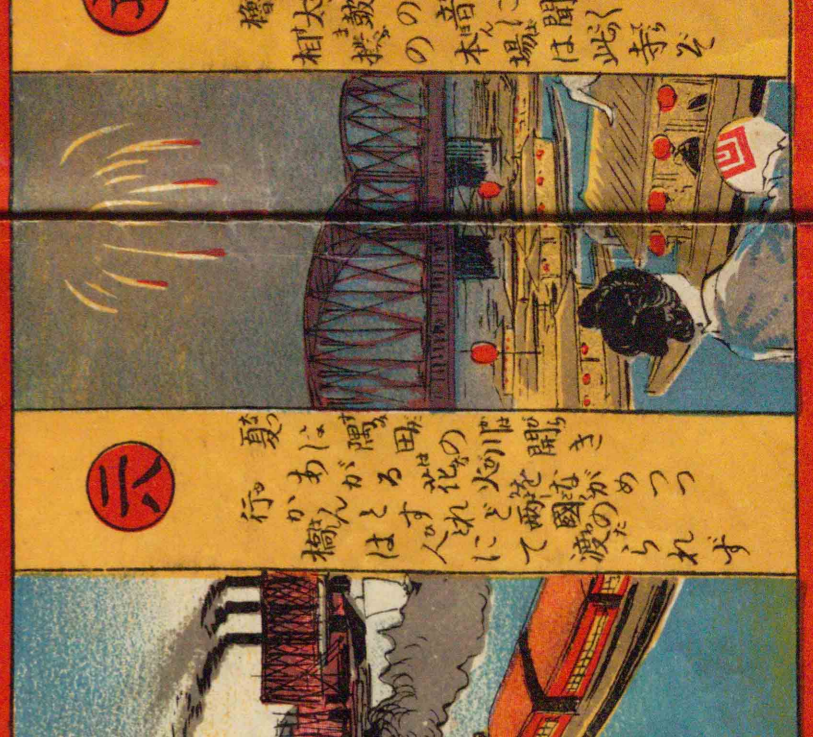


兄

山鳥の飛ぶはるの
歌の無しがて
ひびくは何くの響け

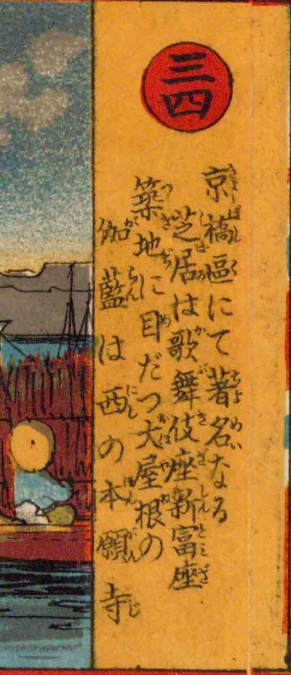
五

山は武蔵の間に
見れば人の来る處
波の山野の青し
筑波の山野の青し
未だ見れば武蔵の間に
道は武蔵の間に



六

夏は高田の川開き
あがる花の火の
行かんとすれど二つ
橋は人にて渡られず



三

京橋區にて著名なる
芝居は歌舞伎座
築地に目だつ大屋根の
伽藍は西の本願寺



休

京橋のすきで新橋に
線路の家の銀座町
電燈の夜は花のこぼ



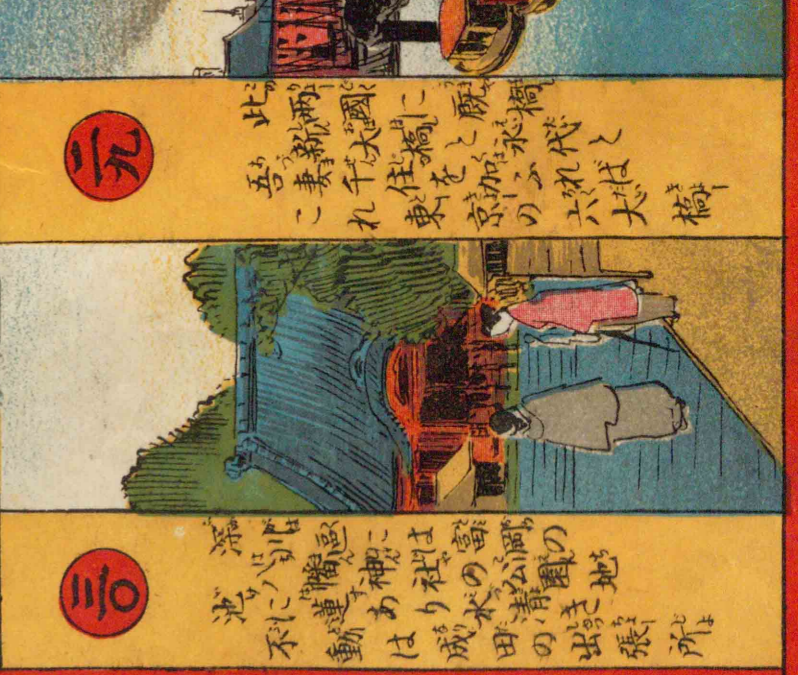
三

橋の北には魚市場
南に見ゆるは四日市
郵會社庫ありて
水には通ふ船絶えず



三

東京市街の中央と
諸國に至る道程は
ここより何里と数へたり



元

此の兩國に
吾妻千住橋を
これ東の六本

川

海は富の
池に神あり
不慮は成田の



四

門の外なる
音は春は
貴族の
舞はひびく
議の園の
美しき



三

拜り出づる
閑老井伊を
刺したる跡は
此ところ



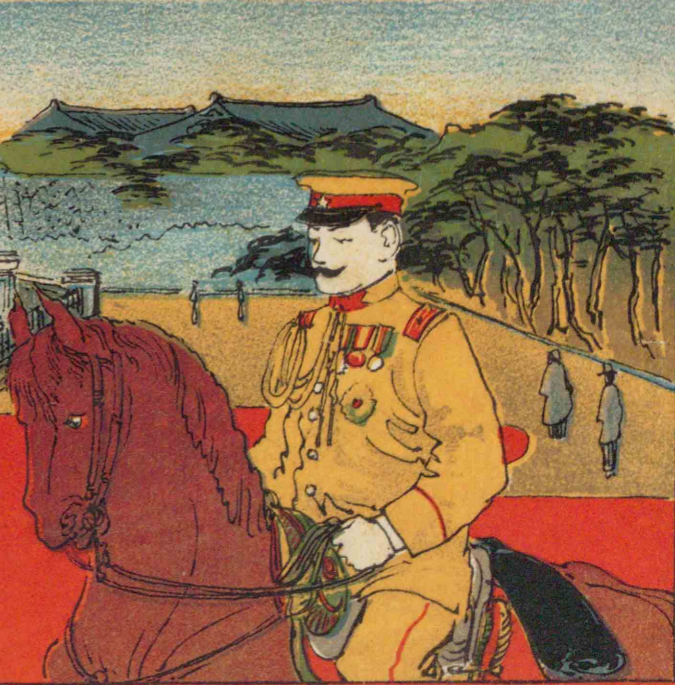
二

千代田の城の
かけを萬代
石と鐵との二重橋



一

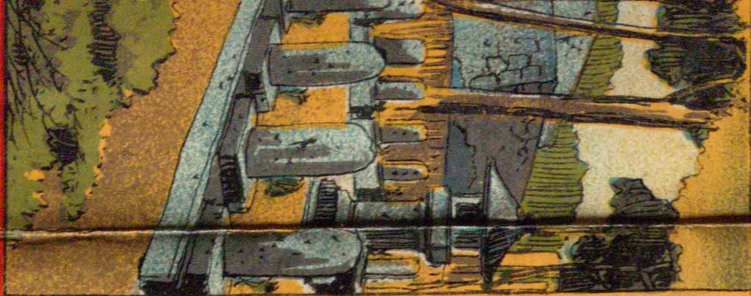
尾花が末に白雲の
今は帝都の東
取も屋根より



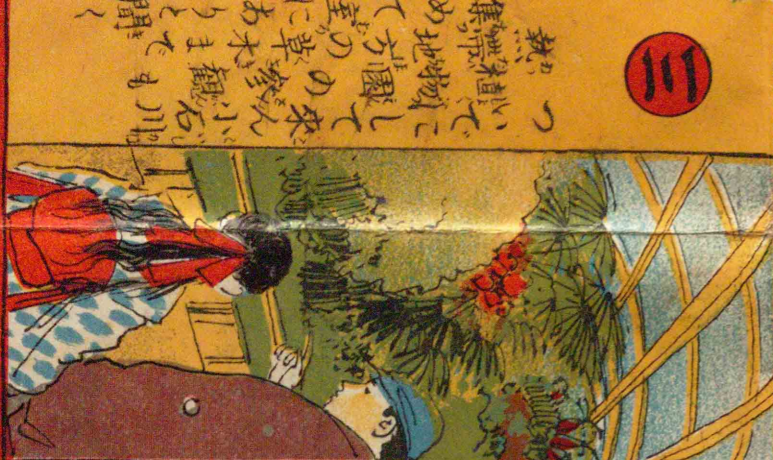
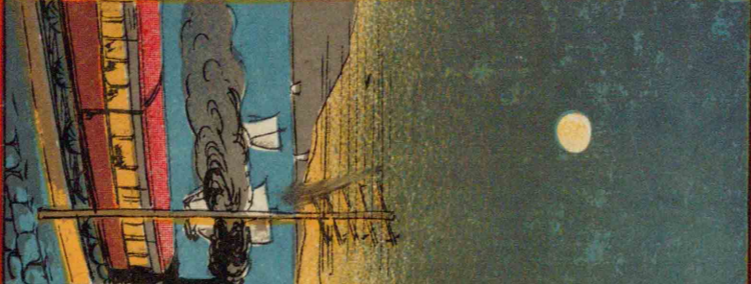
振り出し



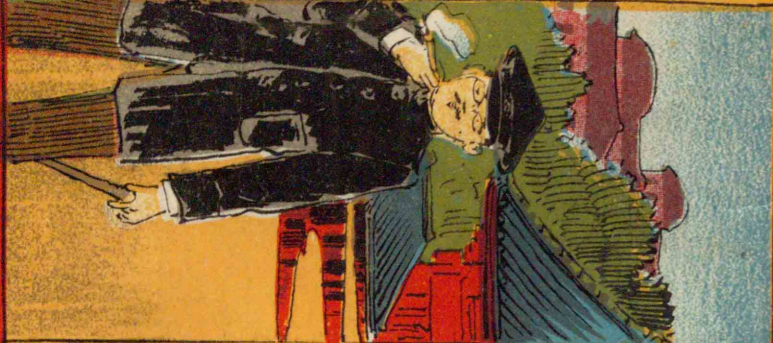
東京名所唱歌又六



三九 芝浦の工場
見上鐵道の
見上鐵道の
見上鐵道の
見上鐵道の



三〇 法林寺の鐘
法林寺の鐘
法林寺の鐘
法林寺の鐘



三一 湯島神社の御祭
湯島神社の御祭
湯島神社の御祭
湯島神社の御祭



三四 芝居は歌座新富座
芝居は歌座新富座
芝居は歌座新富座
芝居は歌座新富座



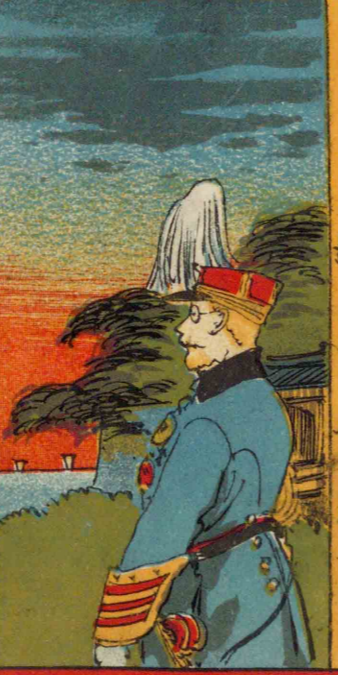
三五 渡に乗りて鐵砲洲
渡に乗りて鐵砲洲
渡に乗りて鐵砲洲
渡に乗りて鐵砲洲



三六 右に開島左には
右に開島左には
右に開島左には
右に開島左には



三七 東海道鐵道の
東海道鐵道の
東海道鐵道の
東海道鐵道の



三八 新橋出でゆく汽車の
新橋出でゆく汽車の
新橋出でゆく汽車の
新橋出でゆく汽車の

四 門の外から日比谷には
門の外から日比谷には
門の外から日比谷には
門の外から日比谷には



五 いつもあかねは星が岡
いつもあかねは星が岡
いつもあかねは星が岡
いつもあかねは星が岡



六 戦死の忠魂祭りたる
戦死の忠魂祭りたる
戦死の忠魂祭りたる
戦死の忠魂祭りたる



七 招魂祭を参拜し
招魂祭を参拜し
招魂祭を参拜し
招魂祭を参拜し



八 小赤壁と古は
小赤壁と古は
小赤壁と古は
小赤壁と古は



九 南の岸は駿河臺
南の岸は駿河臺
南の岸は駿河臺
南の岸は駿河臺

798

Ta14





資料室



